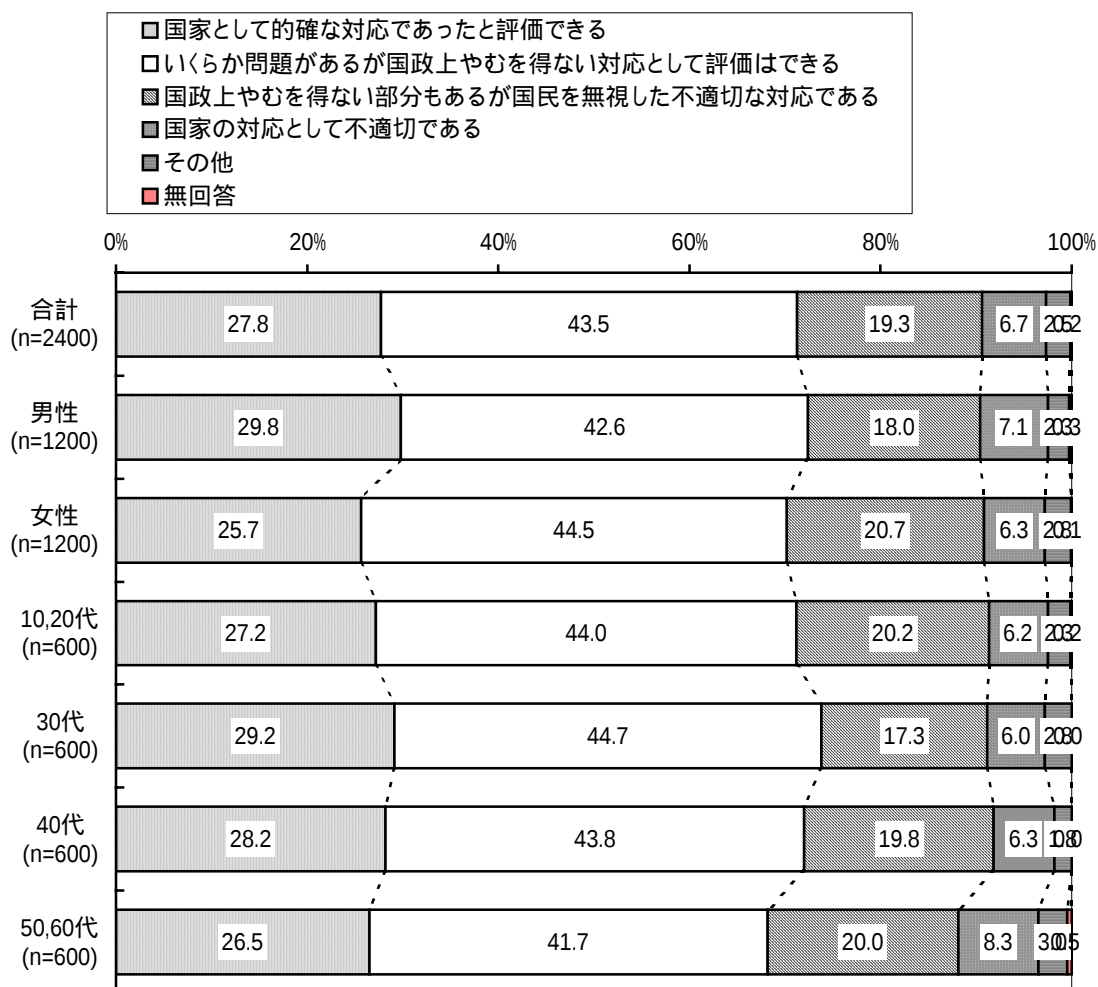


1. 日本政府の対応について

政府は3人を人質に取られ自衛隊の撤退を要求された際に、早い段階で「自衛隊の撤退はしない」「3人が拘束されたのは自分たちに原因がある」という見解を出しました。その後の政府の対応やイラクの人々の協力等により結果的に拘束された3人は無事解放されましたが、この日本政府の対応についてどのようにお考えになりますか？現在のあなたの考えに最も近いものを一つ選んでください。

国政上、やむを得ないこと

全体的に「国政上やむを得ない対応」という意見が4割以上を占めており、消極的ながらも賛成であるという考えの人が多い。男女別に見ると女性の方が僅かに高くなっている。「国家として適切な対応であった」を含めると7割が適切な評価としている。男女別に見てみると男性の方が高い割合を示している。「国民を無視した不適切な対応である」という意見は50,60代と10,20代が多少高くなっている。

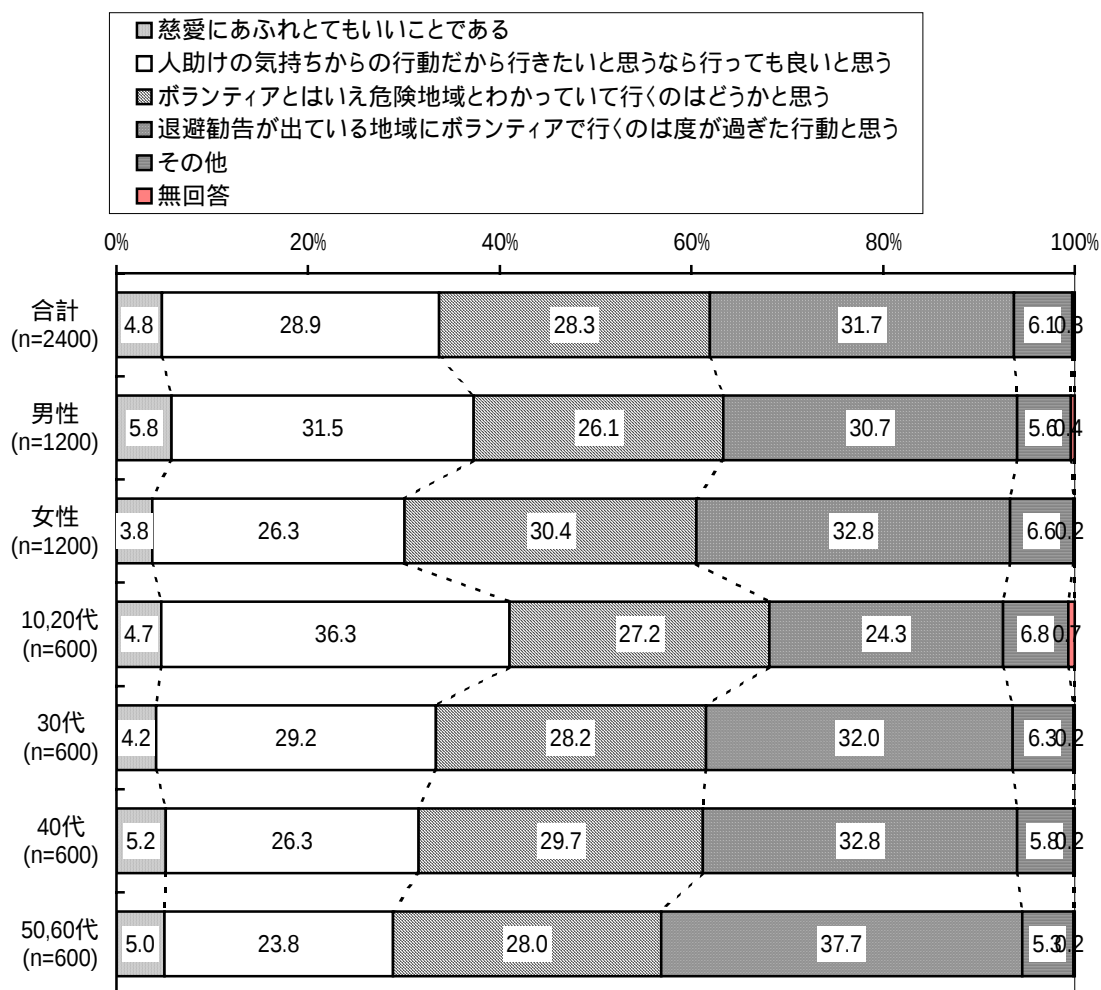


2. ボランティアの是非について

拘束された民間人の中には、ボランティア活動でイラクの復興支援に協力していた方もいらっしゃいました。この方のように、戦地でのボランティア活動を行うことについてどのように思われますか？現在のあなたの考えに最も近いものを一つお選びください。

個人の自由？それとも...？

「人助けの気持ちからの行動だから行きたいと思うなら行っても良いと思う」「ボランティアとはいえ危険地域とわかっていて行くのはどうかと思う」「退避勧告が出ている地域にボランティアで行くのは度が過ぎた行動と思う」という3の意見に大きく分かれ、男性・若年層においては「行っても良いと思う」が高く、逆に女性・高年齢層では「度が過ぎた行動」という否定的な意見が高い。特に年齢での意識の差は特徴的である。



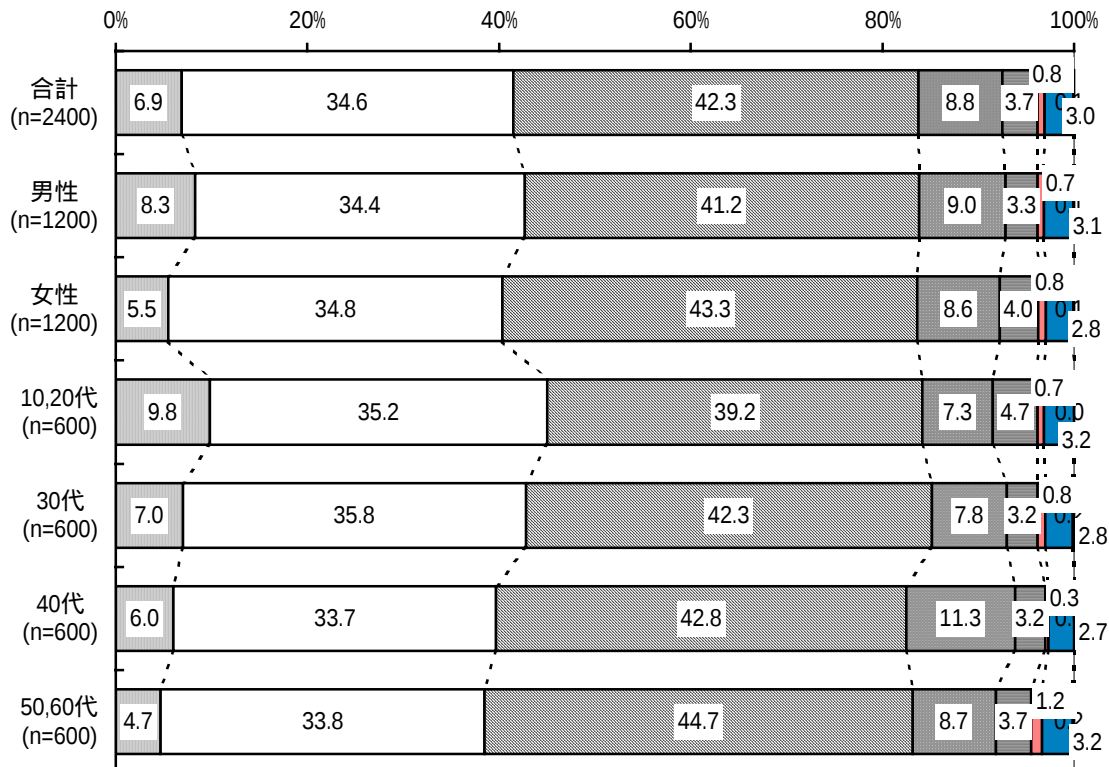
3. 自己責任論の是非について

人質事件発生後、国や様々なメディアが、人質に取られた3人にも責任がある、危険とわかっているのにそのような地域へ行った彼らが自分で招いた事態である、といった、いわゆる「自己責任論」を軸にして事件を報道しました。このような状況についてどのように思われますか？現在のあなたの考えに最も近いものを一つお選びください。

やってはいけないと言われても...

「言われても仕方がない」と「責めるのは行き過ぎ」、意見は大きく2つに分かれた。全体的には若干「行き過ぎ」という声が多いが、年齢を上げるに連れ「責めるのは行き過ぎ」の意見が高まる。実際の世間の風潮でも意見はまっぴたつに分かれた感があったが、ここでもその通りの結果になったと言えよう。政治的方便としての自己責任を指摘する回答は肯定否定ともどもそれ程高い割合は示さなかった。

- その通り、彼らが自分で招いた事態なのだから、国が動く必要はなかった
- 国民の安全を守るのが国家の原則とはいえ、彼らの場合はその原則の範囲外であるから言われても仕方がないと思う
- 彼らの行動は確かに配慮が欠けていたが、国やマスコミがそれを責めるのは行きすぎと思う
- 不測の事態なので、3人を責めるのは全くの検討違いである
- 3人は自己責任を持たれることで誘拐犯の要求を断る口実にされたと思う
- 誘拐犯の要求を断るための方便であったから政治上仕方がなかったと思う
- その他
- 無回答



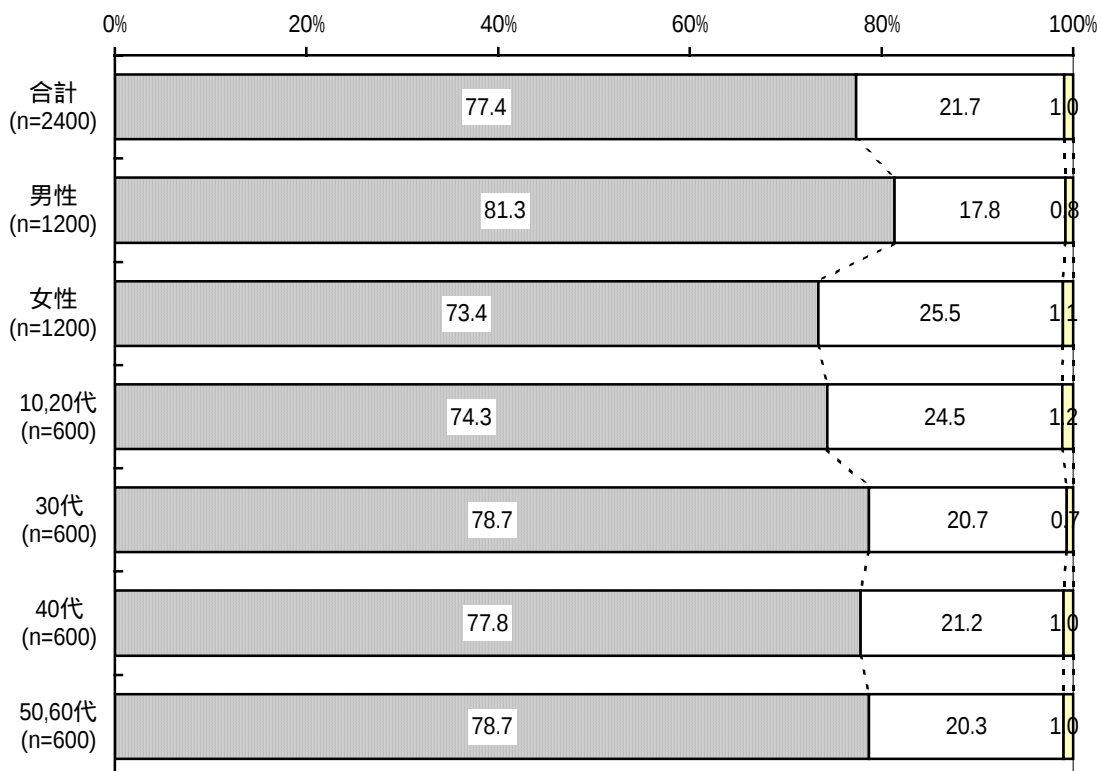
4. 自衛隊は撤退すべきだったか

今回、犯人の要求は「自衛隊撤退」でした。日本は結局撤退させませんでしたが、この判断についてどのように思われますか？

正しい判断だったと言えるでしょう

「撤退すべきではなかった」——日本政府の判断は間違っていない、とする意見が多数を占めた。しかしながら、男性より女性、高年齢層より若年層で「撤退すべきだった」という声が多い傾向にある。

- 撤退すべきでなかった
- 撤退すべきだった
- 無回答

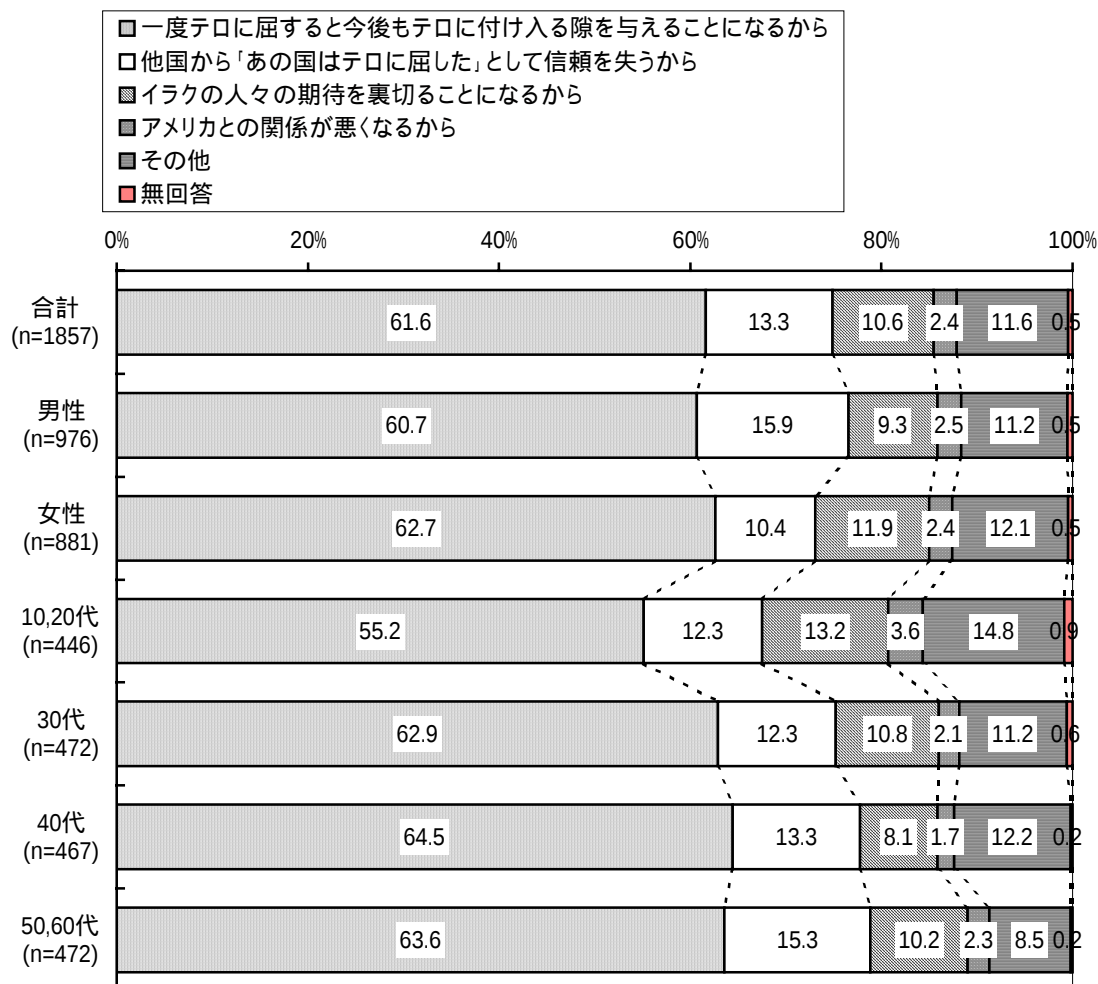


4a. 撤退すべきでなかった理由

「撤退すべきでなかった」と答えた方にお聞きます。その理由は何ですか？現在のあなたの考えに最も近いものを一つお選びください。

テロリズムには屈しない

「一度テロに屈すると今後も付け入る隙を与えるから」が軒並み 60%を越えた。しかし、若い世代においては 55.2%と最も低く、代わりに「イラクの人々の期待を裏切るから」という意見が多少高めになっている。こちらは女性意見と近い結果となった。また「他国からの信頼を失う」という意見は年配層で多く、男女別では男性の方で多く見受けられた。アメリカとの関係上の問題を指摘する声は全体では殆ど見られなかった。

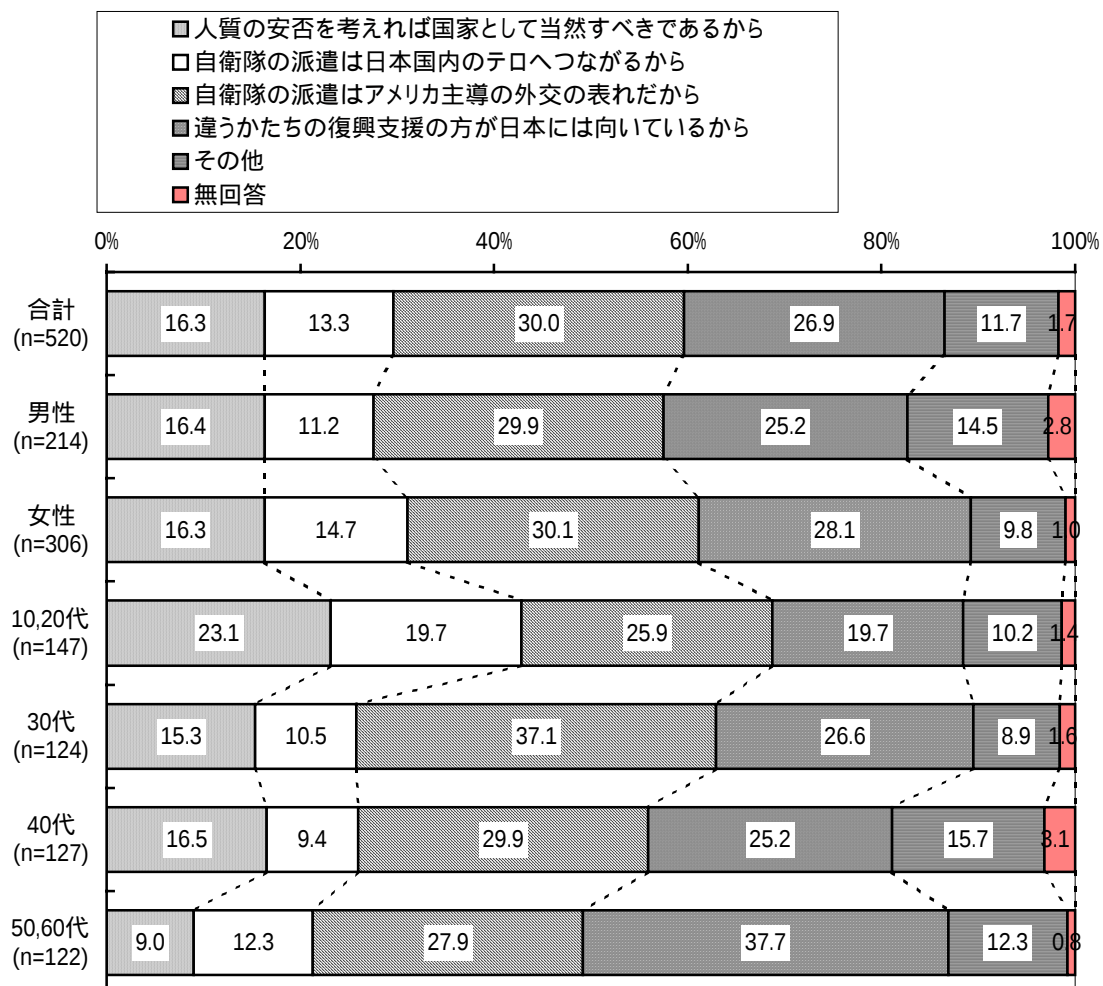


4b. 撤退すべきであった理由

「撤退すべきだった」と答えた方にお聞きます。その理由は何ですか？現在のあなたの考えに最も近いものを一つお選びください。

日本の自主性が問われているようだ

殆どの世代で最も多く見られるのが、「アメリカ主導の外交の現れであるから」という意見で、全体で見ると3割を占めている。次いで「違う形の復興支援が日本には向いている」が26.9%となっている。程度の差はあれど、殆どの世代でこの傾向が見られ、年代が上がるに連れ、「違う形の復興支援が日本には向いている」の割合は高くなっている。若い世代では「人質の安否を考えれば当然」「自衛隊の派遣は日本国内のテロへつながるから」が他層よりも高い割合を示している。



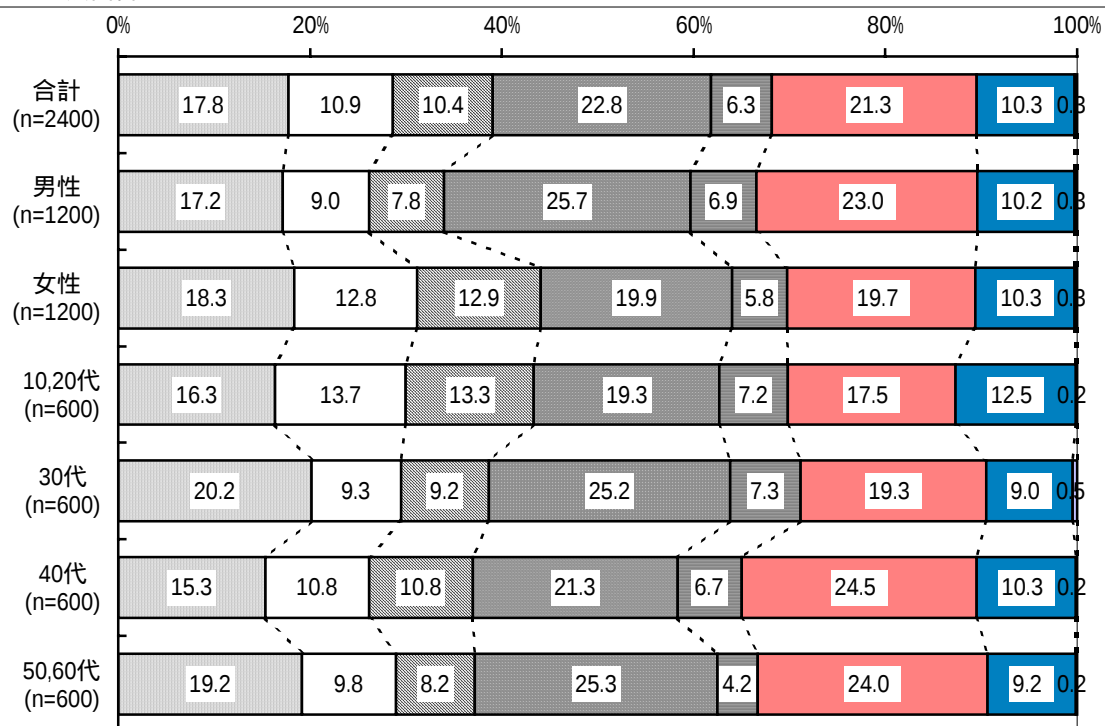
5. 自衛隊派遣の是非について

自衛隊はその派遣時に様々な議論がなされましたが、自衛隊の派遣について、現在のあなたの考えに最も近いものを一つお選びください。

派遣は当然、でも説明不足は否めない

「派遣は当然であった」という声は年代が上がるほど高い。また男性の方が女性より多く見られる。「憲法の改正が必要であった」とする意見にも同様の傾向が見られる。また、「自衛隊の安全面を考え、派遣すべきではなかった」という意見は逆に若い世代に多く、また男性よりも女性の方で高い割合を示している。

- 派遣は違憲であり、決して派遣すべきではなかった
- 紛争の多発する危険地域であるから、安全面を考え派遣すべきではなかった
- 日本は多大な金銭的援助をしているのだから、自衛隊を派遣してまで人的支援をする必要はなかった
- 憲法を改正し、国民にきちんとした説明をした上でなら派遣に問題はなかった
- アメリカが協力を要請しているのだから、派遣はやむを得なかった
- 戦争からの復興という目的なのだから、人道的な面からも派遣は当然であった
- その他
- 無回答

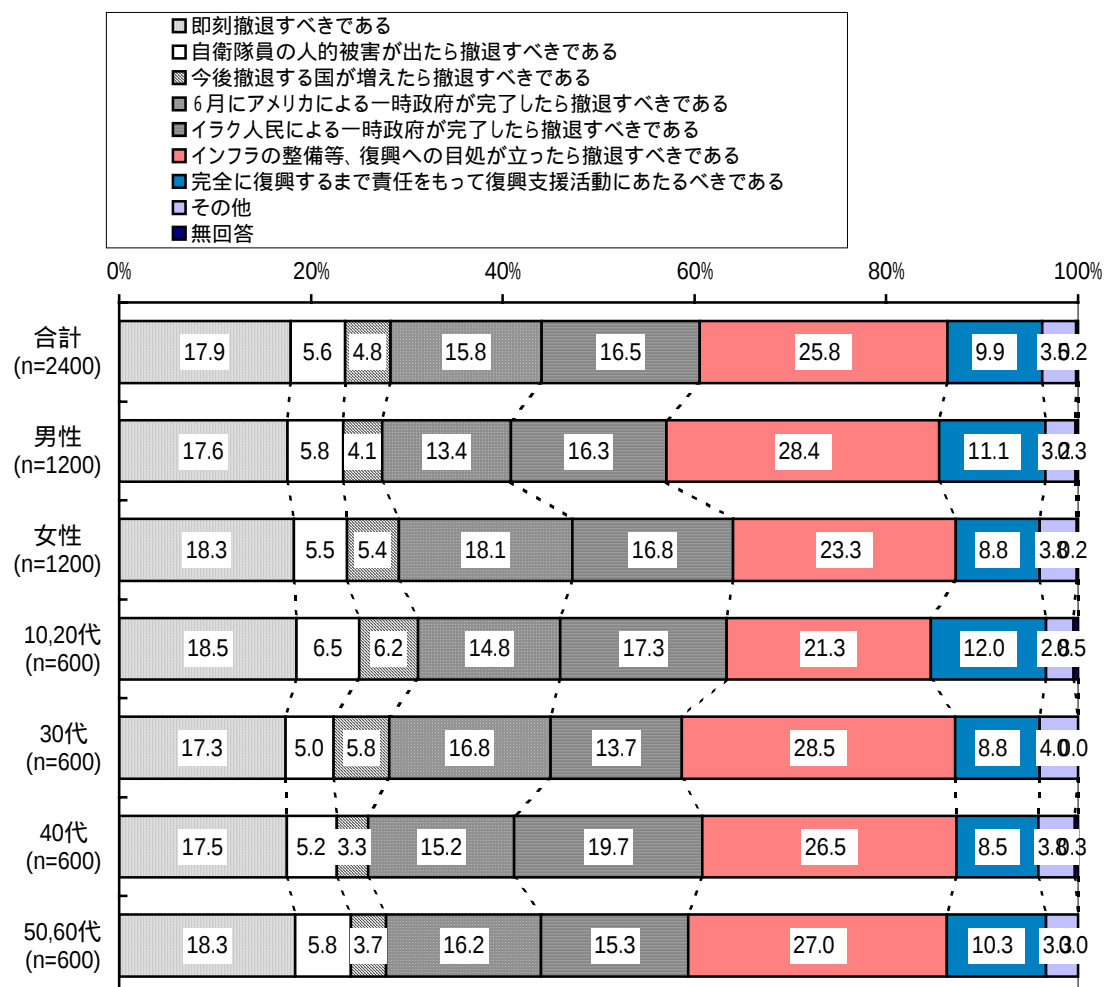


6. 自衛隊撤退時期について

現在イラクで復興支援活動をしている自衛隊ですが、その撤退時期についてはどのようにお考えになりますか？現在のあなたの考えに最も近いものを一つお選びください。

復興の目途はいつ立つのか

「復興の目途が立ったら撤退」という意見が全体的に多くなっている。「即時撤退」という意見は全体では 18%前後に留まっている。また、若い世代においては、「自衛隊に人的被害が出たら撤退」という意見が他の年代に比べて少々高い割合が示された。

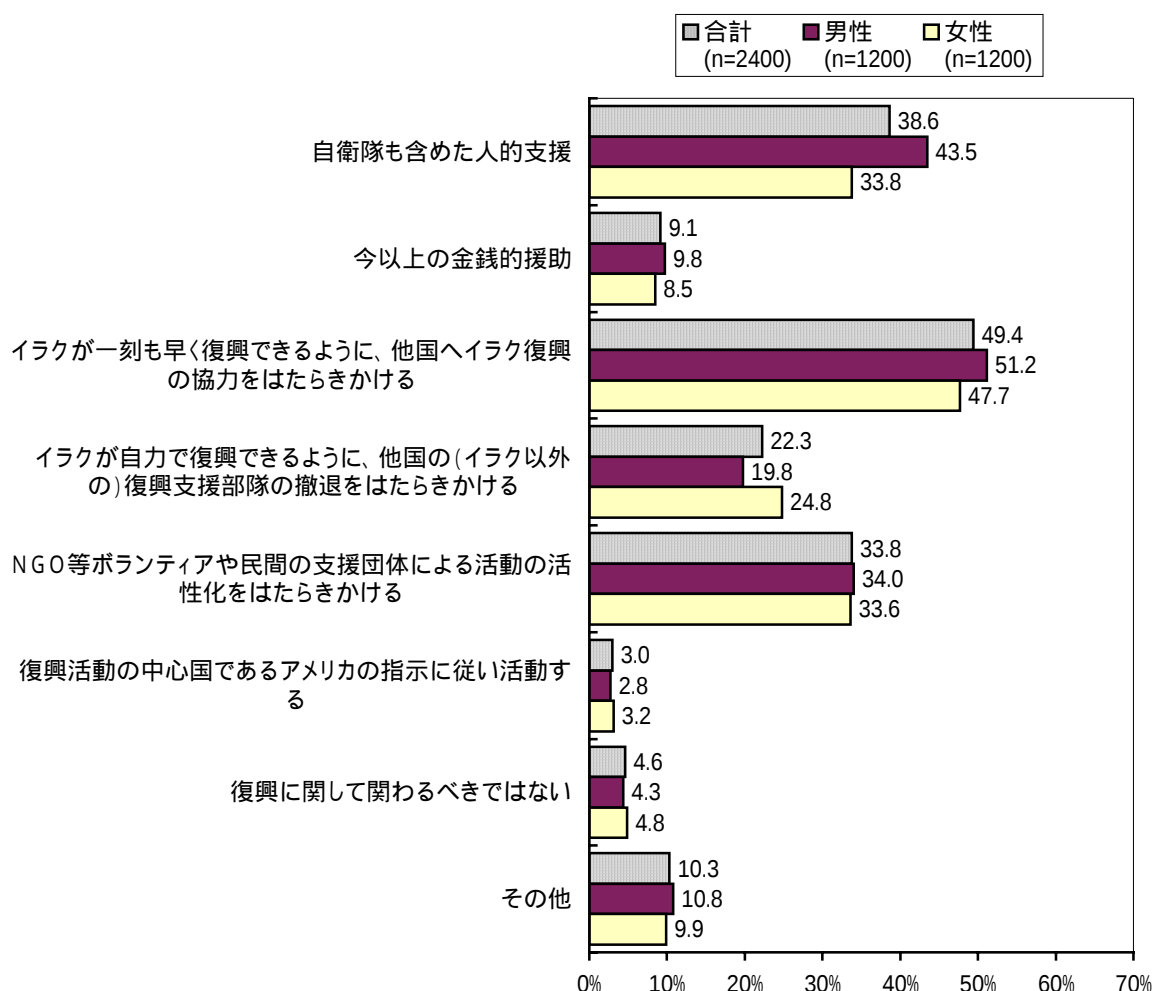


7. イラク復興のためにすべきこと

イラク復興のために、日本は何が出来るか、あるいは何をすべきか、現在のあなたの考えに最も近いものをお選びください。(3つまで)

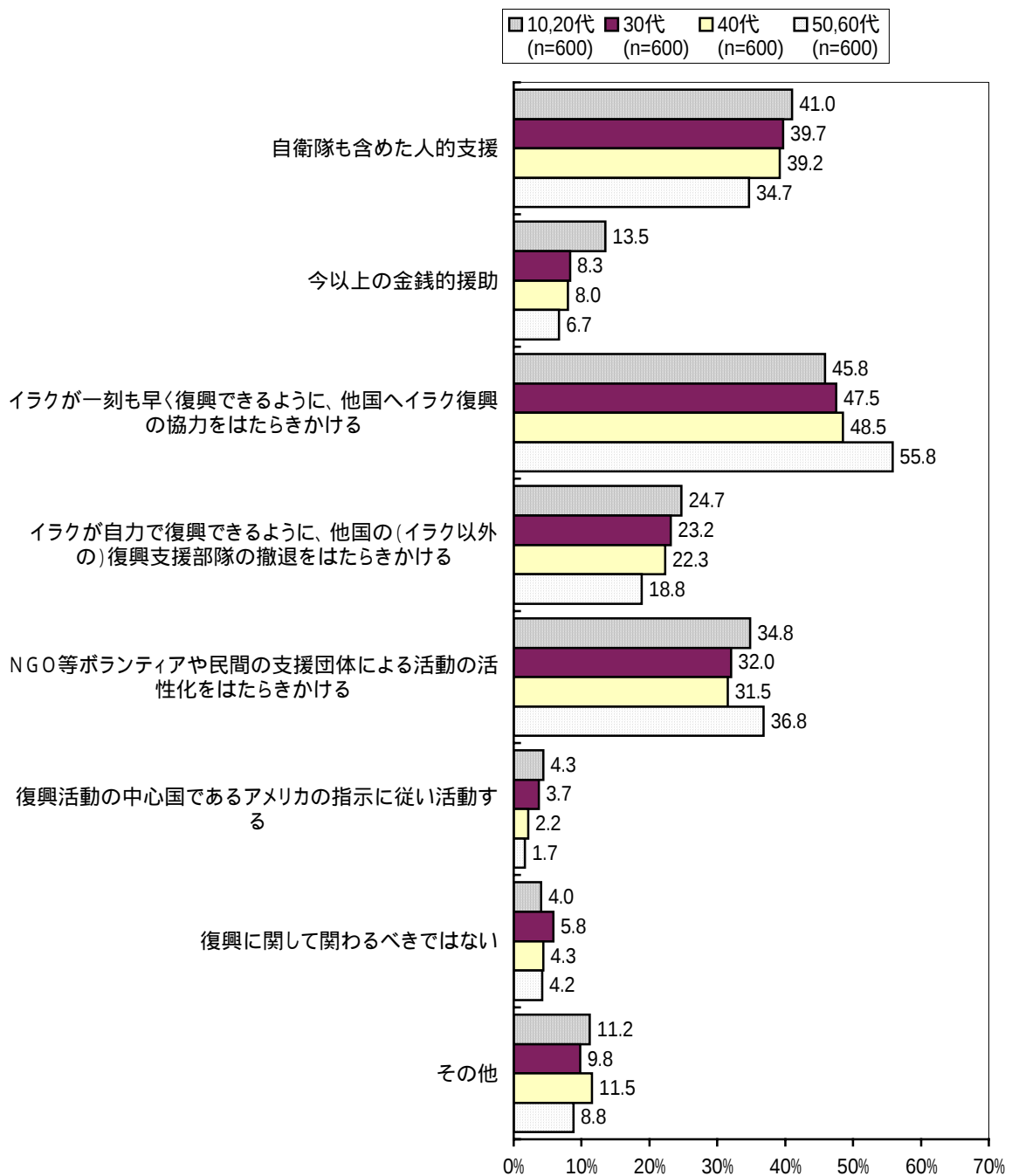
他国へ協力要請？

「他国へ復興の協力を働きかける」という意見が5割に近い割合を示し、日本がイニシアチブをとることが望まれているようである。次いで「自衛隊を含めた人的支援」「NGO等民間団体へ働きかける」が男女とも多く、金銭的援助は10%程度に留まった。男女による意見の差はほぼないが、「自衛隊を含めた人的派遣」については男性の方が高い割合を示し、「他国へ働きかける」については女性の方が高い割合を示す結果となった。



自衛隊、他国の協力、NGO...お金より人的援助

高年齢層ほど「他国へ協力要請」という声が多くなり、若年齢層ほど「金銭的援助」「イラクの自力復興」という声が多くなる傾向となった。しかしながら「NGOやボランティアの活性化を働きかける」では20代以下と50代以上が高く、30代と40代が低い、という結果になった。また「自衛隊も含めた人的支援」は全年代において3～4割を占めている。「アメリカの指示に従う」は低い「復興に関わるべきではない」も低い。日本独自の活動が望まれているようだ。

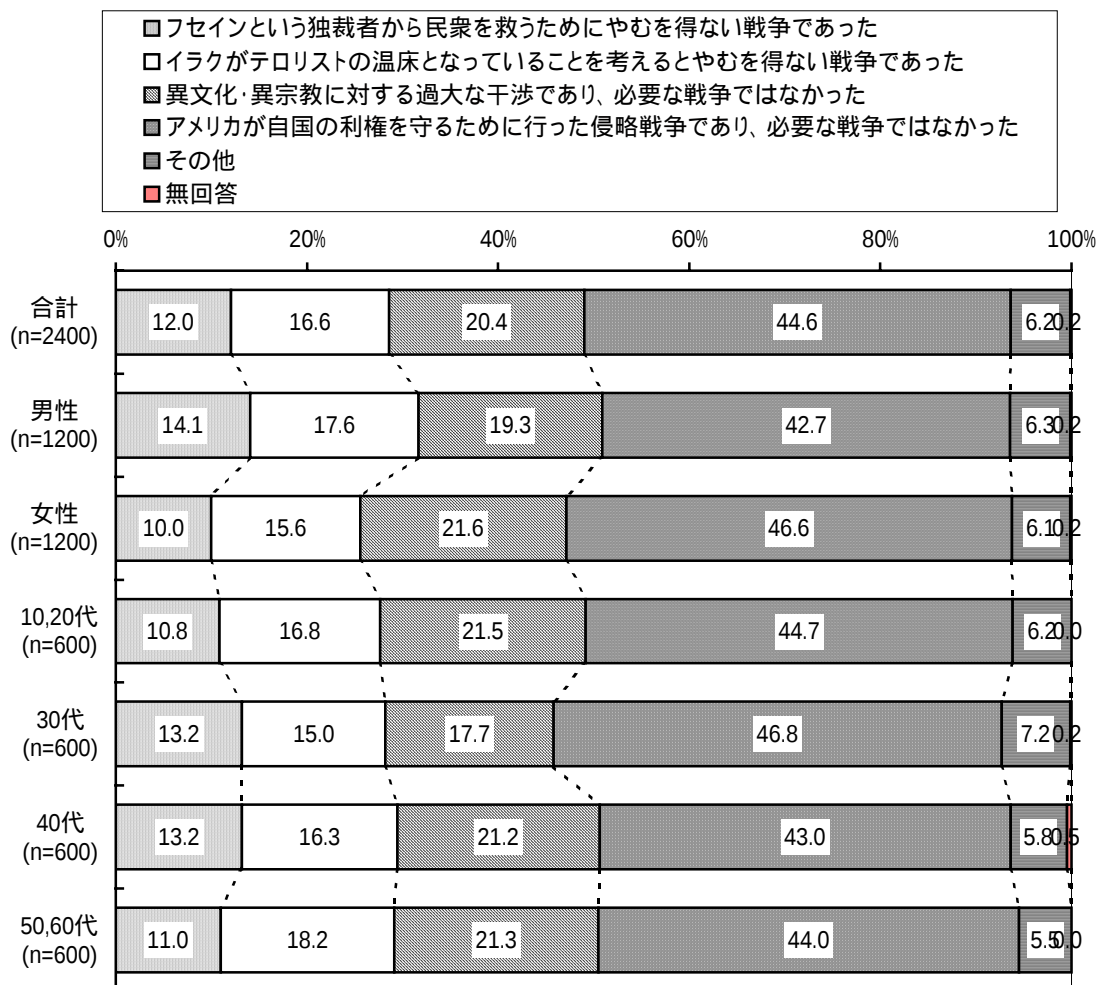


8. 今回の戦争について

アメリカを中心に現在様々な国によりイラクの復興支援が行われています。イラクを現在のような状況に追い込んだ今回の戦争について、どのようにお考えになりますか？現在のあなたの考えに最も近いものを一つお選びください。

やはりアメリカは悪者か

全年代、及び男女別においても両方で「アメリカの侵略戦争」という意見が 40%を超えている。年輩層では「イラクはテロリストの温床だからやむを得ない」という意見も高い。フセイン政権やテロリスト、異文化・異宗教などやむを得ない戦争であったのか？なかったのか？という点では unnecessary 戦争であったという意識が 3 / 4 を占めた。

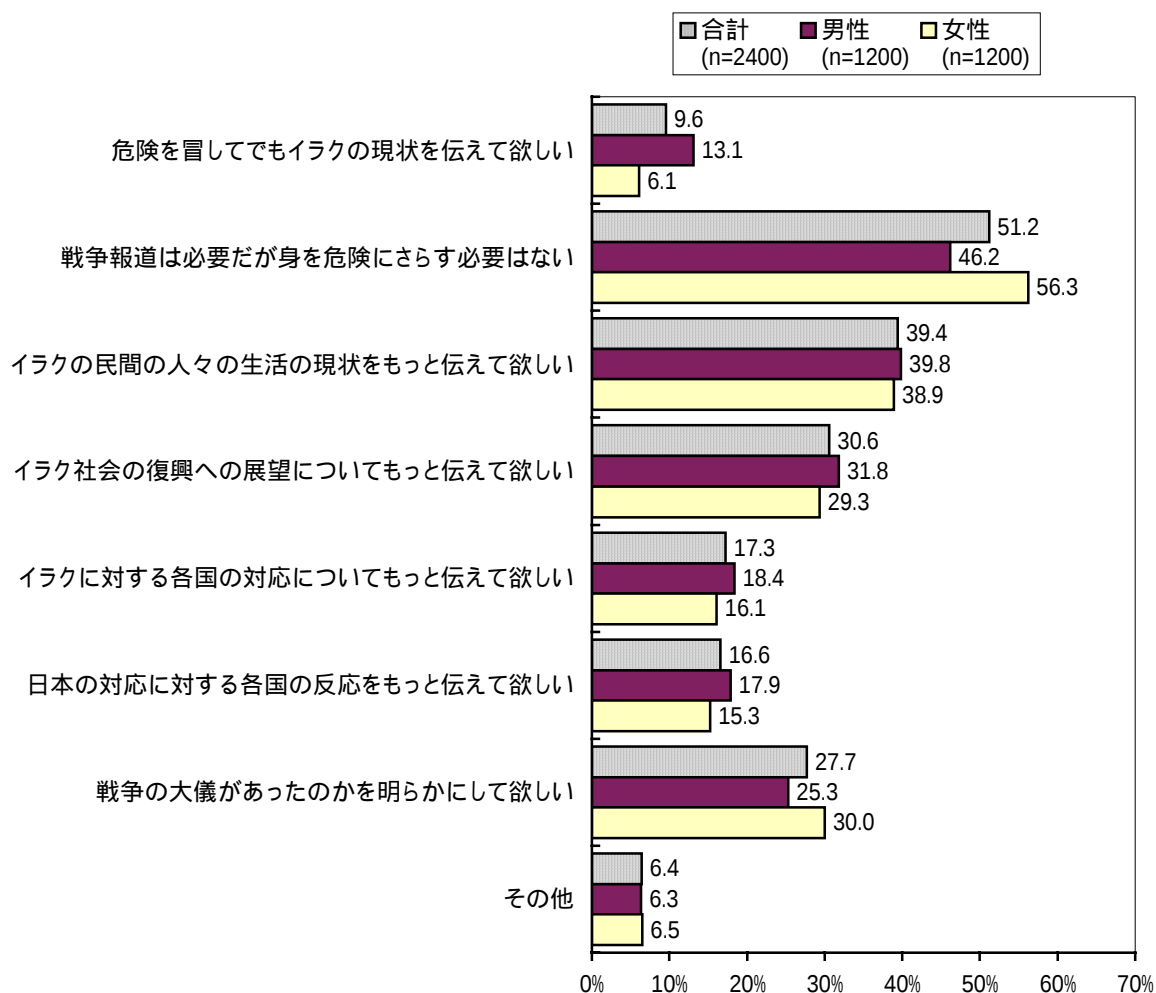


9. 戦争報道について

拘束された方の中にはジャーナリストの方もいらっしゃいました。戦争報道の在り方についてどのように思われますか？現在のあなたの考えに近いものをお選びください。（3つまで）

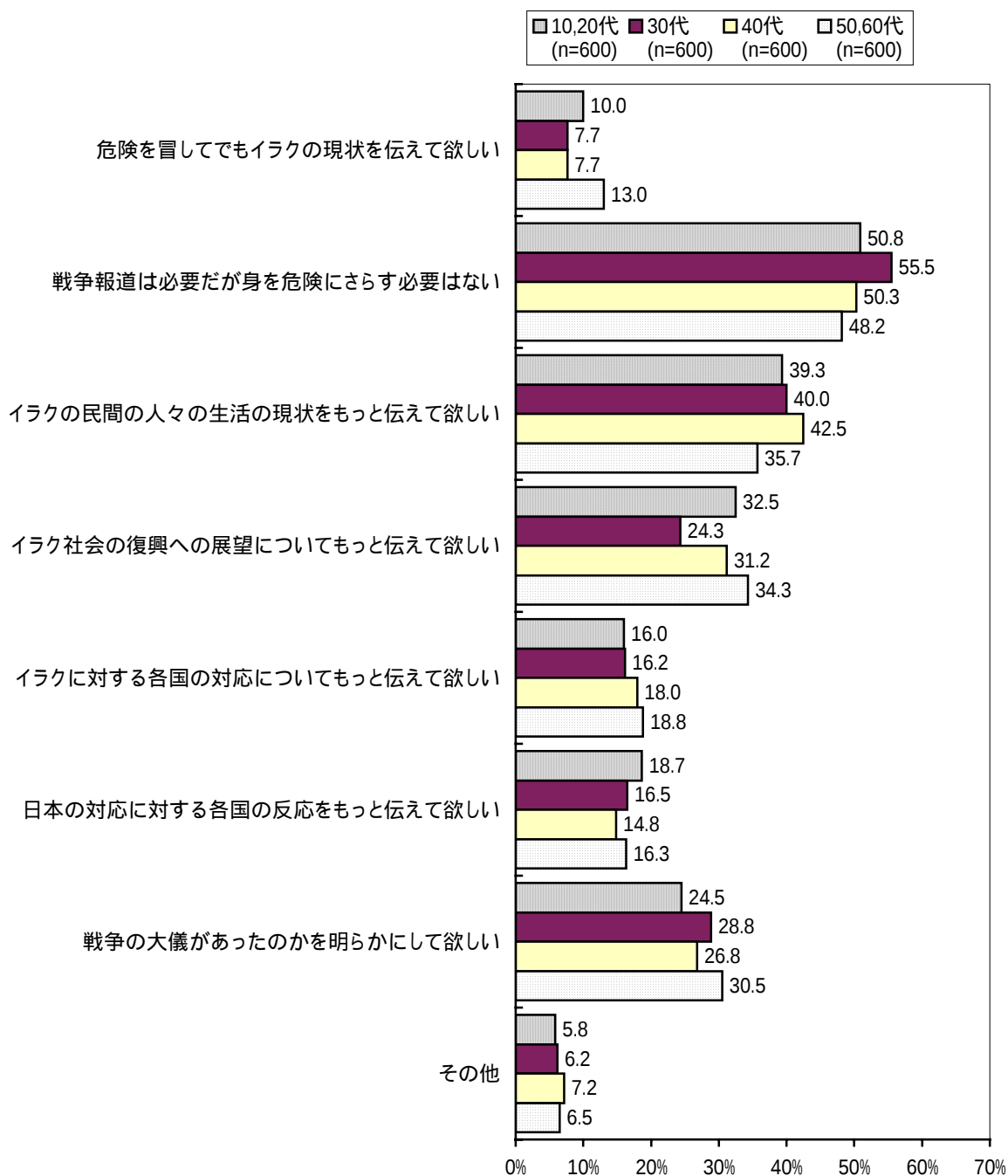
何のための戦争報道か

「身を危険にさらす必要はない」という意見が全体的に高く、特に女性では 56.3%もの割合を占めている。次いで「イラクの人々の現状を知らせて欲しい」、「復興の展望を知らせて欲しい」、「戦争の大義があったのかを明らかにして欲しい」という意見が続く。しかし、身の危険を冒さずにこれらをどこまで正しく報道することが出来るのか、は曖昧で、戦争報道の難しさを物語っていると言えよう。



命を大事に

各世代とも「身を危険にさらす必要はない」という意見が最も多いが、それでも若年層は「身を危険にさらす必要はない」というのに対し、年配層は「危険を冒してでも伝えて欲しい」という傾向があるように見受けられる。イランについての情報は年輩層で求められており、「日本に対する各国の反応を伝えて欲しい」という声は若い世代が多い。また戦争の大儀の有無は年輩層で求められている。

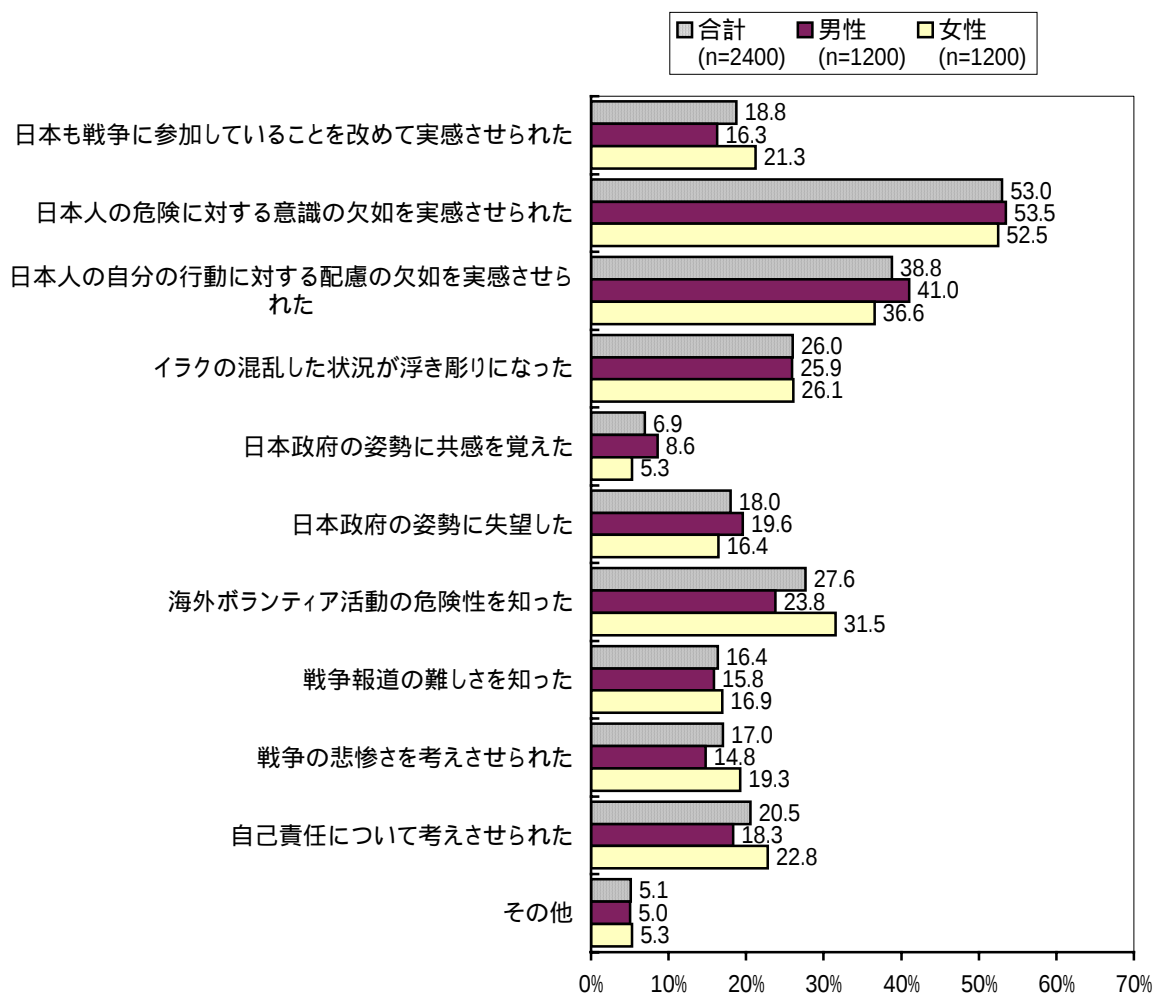


10. 今回の邦人人質事件について

今回の邦人人質事件について現在のあなたのお気持ちに近いものをお選び下さい。(3つまで)

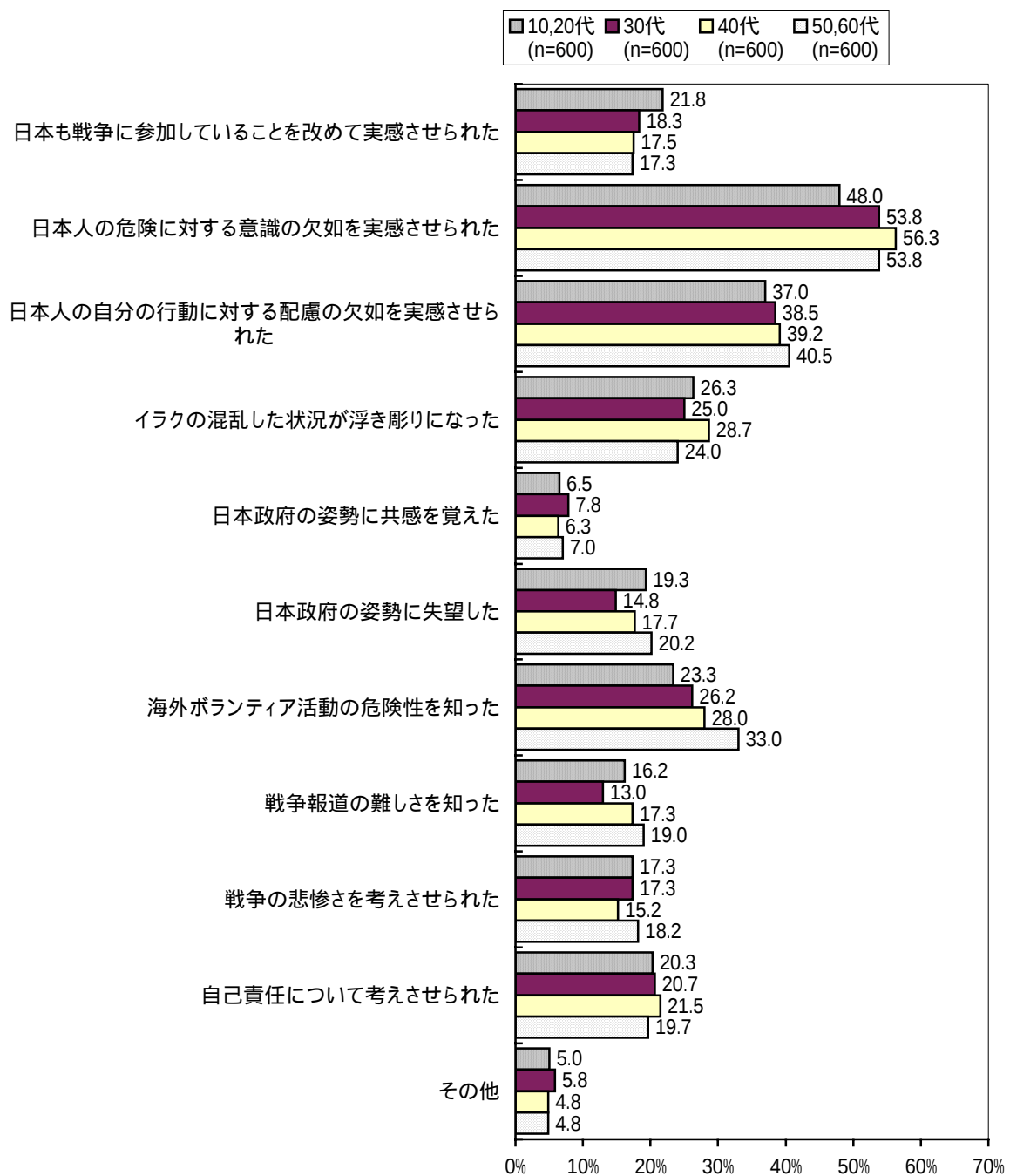
相変わらずの平和ボケ

「日本人の危険に対する意識の欠如」に対する危惧の声が男女とも 50%を超えている。また男性では「自分の行動に対する配慮の欠如を感じた」が 41.0%(女性は 36.6%)、女性では「海外ボランティア活動の危険性を知った」が 31.5%(男性は 23.8%)と特徴が現れている。



そして責任感の欠如

「日本人の危険に対する意識の欠如を実感させられた」を指摘する声が多く、「自分の行動に対する配慮の欠如」と続いている。年輩層では「海外ボランティアの危険性を知った」という声、若年層では「日本も戦争に参加していることを改めて実感させられた」という声が目立っている。また、「日本政府への失望」が若年層、年輩層で上がっている。

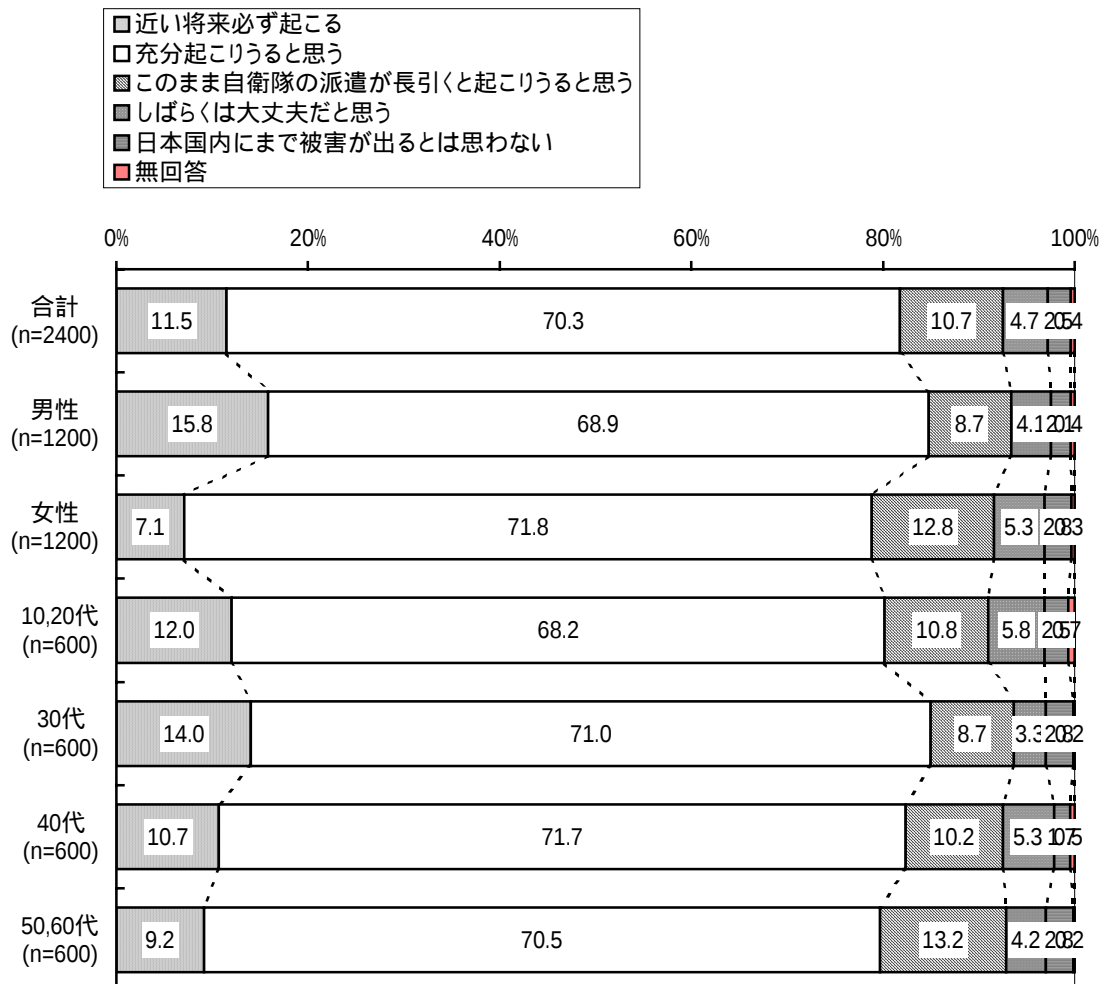


11. 日本でのテロについて

今後日本でのテロは起こると思いますか？現在のあなたの考えに最も近いものを一つお選びください。

テロは対岸の火事ではない

今後日本でテロは起こるのか？全ての層で 90%以上が「必ず起こる・充分起こりうる」という回答をした。僅かな差ではあるが、若い世代では「しばらくは大丈夫だと思う」、「日本国内に被害は出ない」等の比率が高く、危機意識の低さが現れている。また男女別に見ると、「必ず起こる」という回答が女性に比べて男性が倍以上と多く、男性の方が危機意識を持っている、と言えそうだ。

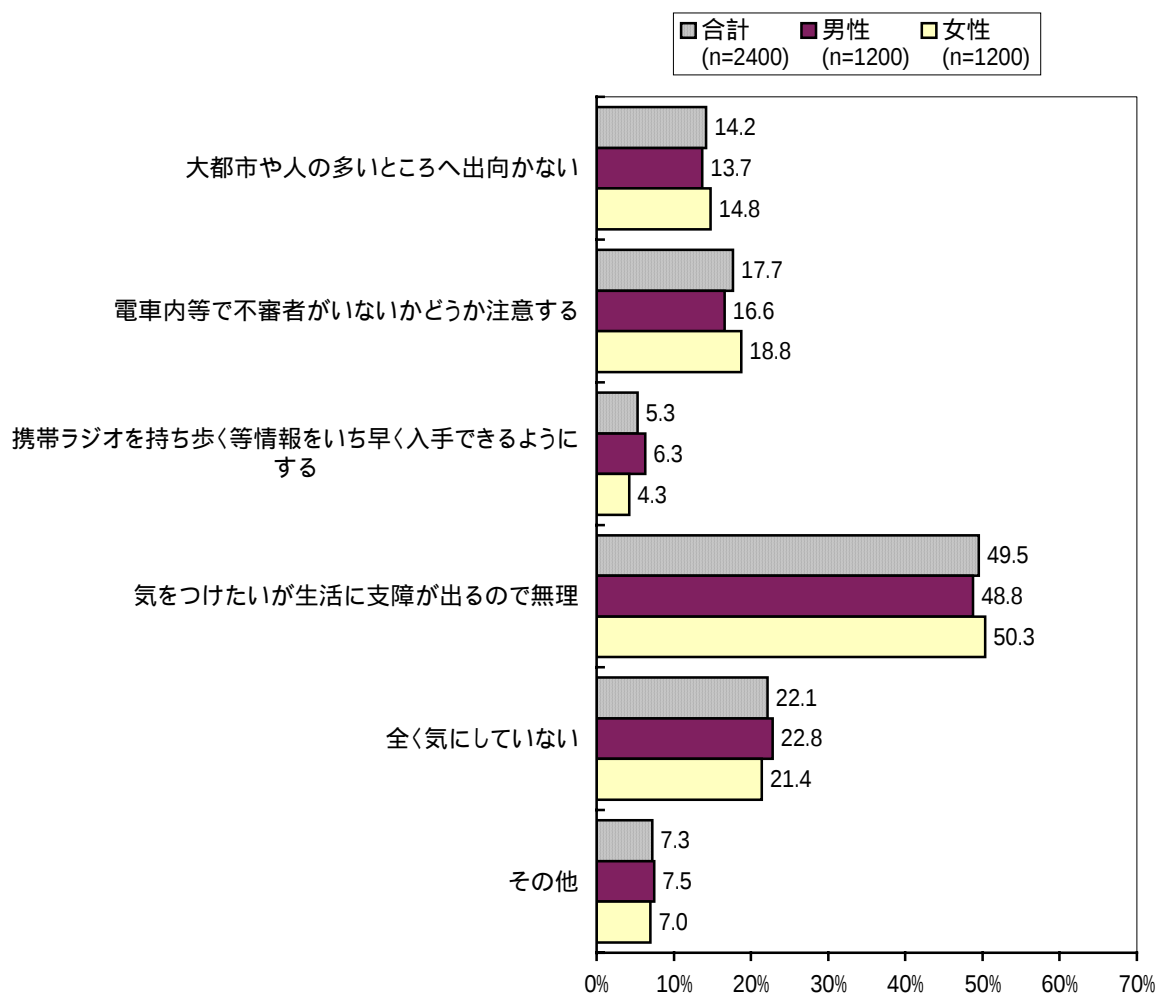


11a. あなたのテロ対策

国内テロに対して現在あなたが何か気をつけていることがあればお答え下さい。

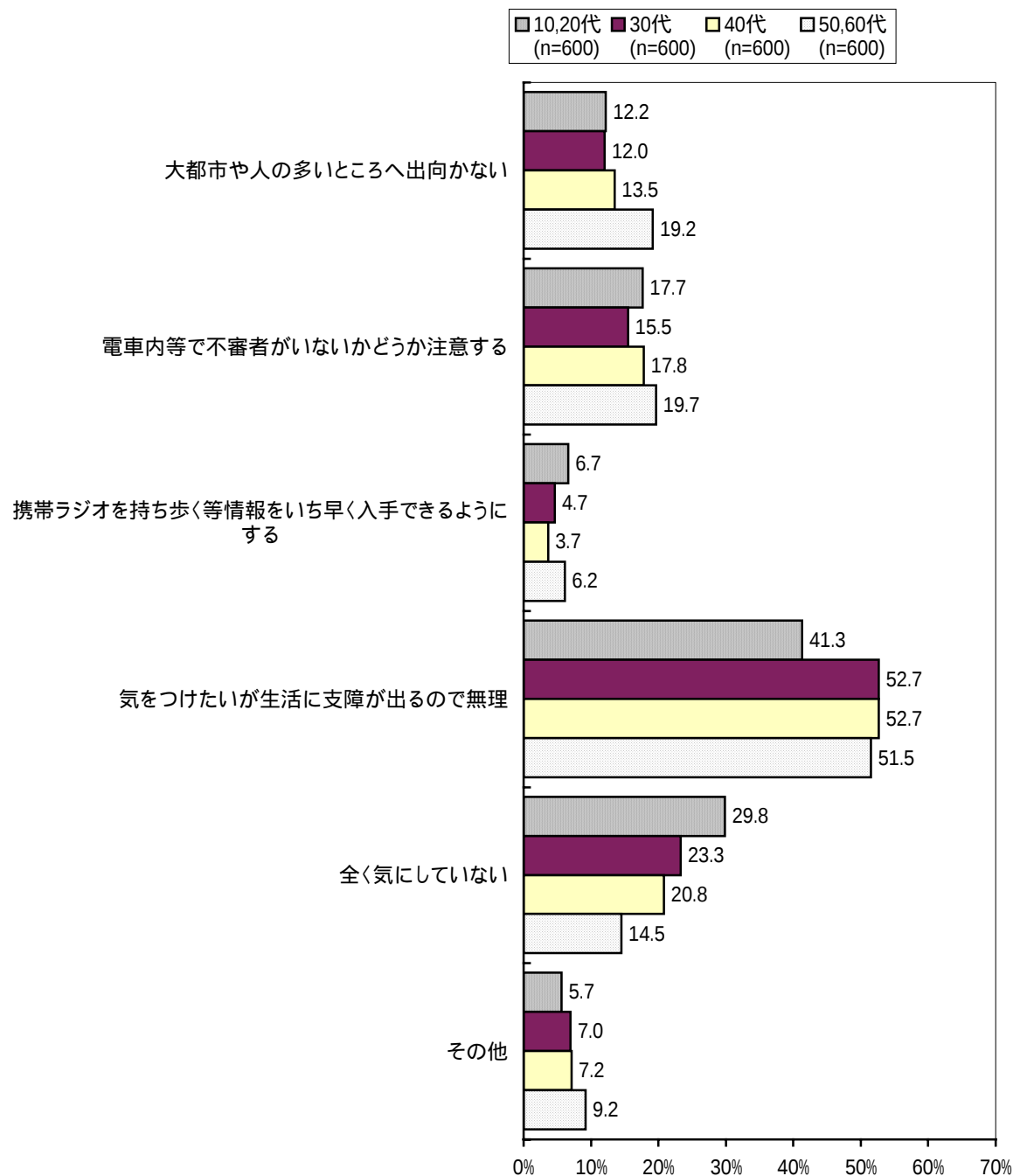
やはり対岸の火事か

男女別ではほとんど差は出なかったと言える。そして「気をつけたいが生活に支障が出るので無理」という意見がほぼ半数の人から出る結果となった。次に多いのが「全く気にしていない」で、全体の2割程度となっている。テロリズムの危険性について多くの人が危惧していながら、実際に具体的な対応をとっている人は少ない。気をつけたいけれどもどう気をつければいいのか分からない、といった人が多いのではないだろうか。



お年寄りの方が危機意識は高い？

年齢別に見てみると「気をつけたいが無理」は 30 代以上で多く見受けられる。そして特徴的なのは何か具体的に気をつけている人は 50,60 代に多く見られるということと、逆に「全く気にしていない」という意見は 20 代での割合が他の世代よりも極めて高く、年代が下がるに連れ割合が高くなっている。ここでは世代格差がハッキリと現れていると言えよう。



12. もし自分の家族だったら

自分の御家族が同様な状況(外国で誘拐され犯人の提示した期限がせまってきたら)になったらあなたはどのような対応をとられると思いますか？現在のあなたの考えに最も近いものを一つお選びください。

あまり感情的にはならぬが吉？

「政府の対応が不適切と思えば正しい手続の元で改善を要求する」という回答がどの世代もほぼ横ばいで 35%程度を占める結果となった。「そのような状況にならないとわからない」というのは人間である限り当然で、これについて若年層、40代と30代、年輩層とグループで格差が見られる。性別では女性の割合が高い。特徴的なのは若年層ほど「政府に一任」が低く、高年齢層ほど「感情的になってでも改善を要求する」が低い傾向にあることだ。

